

脱炭素社会の実現に向けた取組を強化！

～公共建築物の ZEB 化、木材利用を促進します～

横浜市では、「公共建築物における環境配慮基準」を定め、環境への負荷の低減及び周辺環境の保全に配慮した公共建築物の整備を推進しています。

この基準を改定し、**新築時のエネルギー消費性能基準を ZEB Oriented 相当へ強化**するとともに、**木材使用量の目標値を新たに定め**、更なる脱炭素化の取組を加速します。

主な改定内容

1 建築物のエネルギー消費性能

新築時のエネルギー消費性能基準を ZEB Oriented(ゼブ・オリエンテッド)相当へ引き上げます。

【改正前】

用途	基準
主要な施設※ ¹ (市庁舎、区庁舎等)	BELS : ☆☆☆☆ (BEI ≤ 0.7 又は 0.75)
その他の施設 (延べ床面積 300 m ² 以上)	BELS : ☆☆☆ (BEI ≤ 0.8)

※¹ 主要な施設：大規模(概ね 10,000m²以上)で、不特定多数の市民が利用する施設

※² BEI = 設計一次エネルギー消費量 / 基準一次エネルギー消費量

※³ ZEB Oriented 相当：消費エネルギーを基準に対し、用途により 40% 又は 30% 以上削減したものを指す

【改正後】

用途	基準
事務所等 学校等 工場等	BEI ^{※²} ≤ 0.6 (ZEB Oriented 相当 ^{※³})
その他	BEI ≤ 0.7 (ZEB Oriented 相当)
住宅	BEI ≤ 0.8 (ZEH 水準)

2 木材使用量

新築時の木材使用量の目標値を用途ごとに定めます。

【木材使用量の目標値】

(m³/m²)

用途	目標値
学校等、住宅	0.01
市民利用施設(区庁舎、図書館、地区センター、ケアプラザ、コミュニティハウス、児童福祉施設等)	0.008
その他上記以外の公共建築物	0.005

適用

令和5年4月1日以降に設計を開始するものから適用します。

※ 詳細は、以下の URL をご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kenchiku/kokyokenchiku/kankyohairyo.html>



お問合せ先

【建築物のエネルギー消費性能に関すること】

建築局公共建築部営繕企画課 技術管理担当課長

花房 慎二郎 Tel 045-671-2974

【木材使用量に関すること】

建築局公共建築部営繕企画課長

曾根 進 Tel 045-671-2910